

## 1. 売上表の作成（合計、かけ算）

右のような売上表を作ってみましょう。品名、単価が入っている表に購入した数量を入力すると、それぞれの金額及び合計金額が瞬時に出るようにします。また、桁区切りについても、自動的にコンマが打たれるようにします。

	A	B	C	D	E	F
1		お買い上げ表				
2		品名	単価	数量	金額	
3	1	本体	38,000	2	76,000	
4	2	OS (windows7home)	12,000	2	24,000	
5	3	液晶ディスプレイ	23,000	2	46,000	
6	4	レーザー無線マウス	2,400	2	4,800	
7	5	スピーカー	1,300	2	2,600	
8	6	CD-R	40	50	2,000	
9				合計	155,400	

### 1. ファイルの呼び出し

- ①「ファイル」をクリック
- ②「開く」をクリック
- ③ファイルの場所から「CD-ROM」をクリック
- ④問題のフォルダをクリック
- ④「お買い上げ表」をクリック
- ⑤「開く」をクリック。

	A	B	C	D	E	F
1		お買い上げ表				
2		品名	単価	数量	金額	
3		本体	38000	2		
4		OS (window	12000	2		
5		液晶ディス	23000	2		
6		レーザー無	2400	2		
7		スピーカー	1300	2		
8		CD-R	40	50		

### 2. 罫（けい）線

- ①A2をクリックし、クリックしたままE8までドラッグ（クリックしたまま、マウスを動かすことをドラッグという）。
- ②ツールバーから罫線を選択し、「格子（こうし）」を選んでクリック。

	A	B	C	D	E	F
1		お買い上げ表				
2		品名	単価	数量	金額	
3		本体	38000	2		
4		OS (window	12000	2		
5		液晶ディス	23000	2		
6		レーザー無	2400	2		
7		スピーカー	1300	2		
8		CD-R	40	50		

### 3. 番号の入力

- ①A3をクリック
- ②A3に「1」を入力してエンター。
- ③もう一度、A3をクリック。さらに、A3のセルの右下にマウスポインタをもっていくと、白抜き+から、+ポインタが変わる。（ハンドルという）

	A	B	C	D	E	F
1		お買い上げ表				
2		品名	単価	数量	金額	
3	1	本体	38000	2		
4		OS (window	12000	2		
5		液晶ディス	23000	2		
6		レーザー無	2400	2		
7		スピーカー	1300	2		
8		CD-R	40	50		

③その状態で、右クリックしながら（押したまま）A8まで下がって、離す。

④サブメニューの中の上から2つめの「連続データ」を選んでクリック。

#### 4. 合計金額の算出

ここが表計算の要になるところです。

38000円のパソコン本体を2台購入するわけですから、38000×2で76000円になります。それを数式を使って、エクセルに計算させます。

	A	B	C	D	E	F
1		お買い上げ表				
2		品名	単価	数量	金額	
3	1	本体	38000	2	=C3*D3	
4	2	OS (window)	12000	2		
5	3	液晶ディスプレイ	23000	2		
6	4	レーザー無	2400	2		
7	5	スピーカー	1300	2		
8	6	CD-R	40	50		

①本体の合計金額が入るE3をクリック。

②半角で「=」をキーボードから入れる。（日本語がOFFになっていることの確認）

③C3をクリックします。E3には「=C3」と入る。

④「\*」をキーボードから入れます。「\*」はコンピュータでは「×」の意。（参考まで「÷」は「/」。）

⑤D3をクリック。E3には「=C3\*D3」となっているはず。

⑥キーボードから「エンター」を入れる。合計金額がでる。

#### 5. 計算式の複写

ここもエクセルの重要ポイントです。OSもディスプレイも5でやったように同じように計算式を入れていけばいいのですが、もう少し楽な方法を考えましょう。同じような式ですから、それを複写していきましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		お買い上げ表						
2		品名	単価	数量	金額			
3	1	本体	38000	2	76000			
4	2	OS (window)	12000	2				
5	3	液晶ディスプレイ	23000	2				
6	4	レーザー無	2400	2				
7	5	スピーカー	1300	2				
8	6	CD-R	40	50				

①再びE3をクリック。

②E3のセルの右下にマウスポインタを持っていき、ハンドル（3③参照）を右クリック。

③右クリックしたまま、E8までポインタを持っていき、離す。

④サブメニューが出るので「書式なしコピー」を選び、クリック。これで個々の金額の合計が算出される。

※左クリック、右クリックでセルのコピーなどの同じような方法もありますが、罫線情報

まで複写され、煩雑になることがあるので、この方法が一番よろしいかと思います。

## 6. 買物金額の合計

個々の金額の合計を計算させます。本体、OS、ディスプレイ、マウス、スピーカー、CD-Rの合計です。

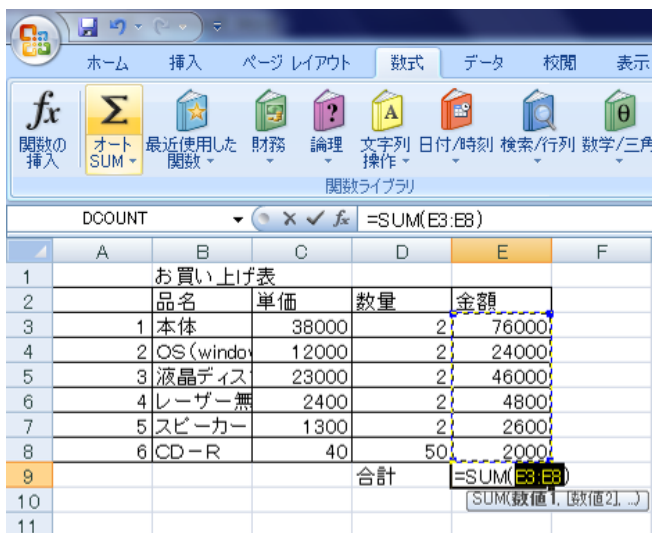
①D 9に「合計」と文字を入力する。

②E 9をクリック。ここにE 3からE 8までを合計する式を入れる。

③メニューから「数式」を選び、オート sum  $\Sigma$  をクリック。するとE 3からE 8までが点線で囲まれる。エクセルが予想される合計範囲を自動的に選択したわけ。この範囲が目的

とする合計と異なる場合は、ドラッグで範囲を変更できるが、今回の場合その必要はない。

④エンターキーを押すと合計が算出される。



## 7. 桁区切りの設定(セルの書式設定)

①C 3をクリックし、E 9までドラッグし、マウスを離す。

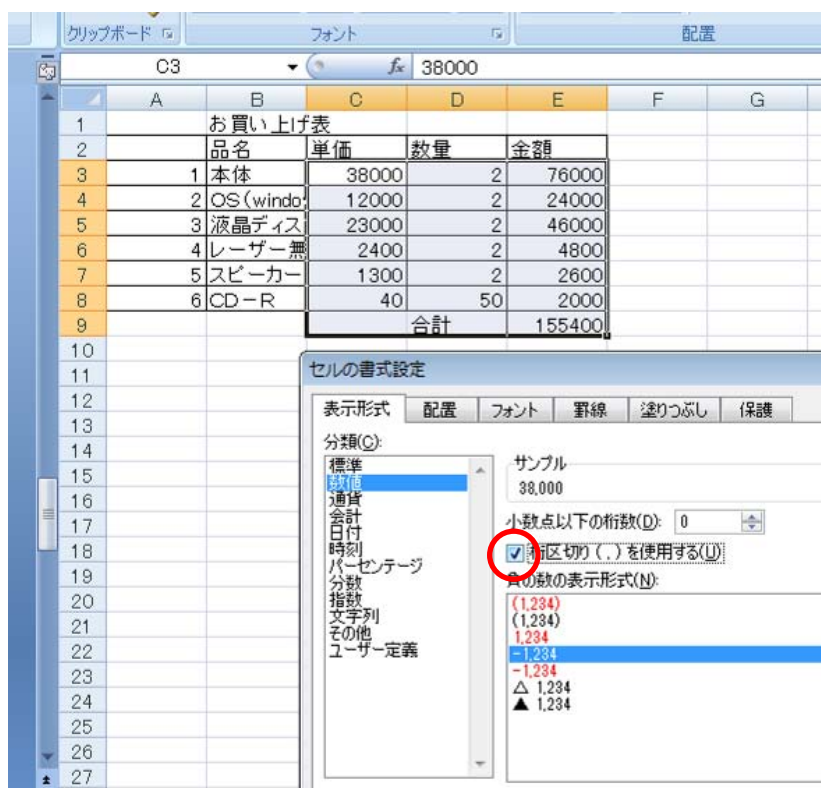
②範囲指定された(色がついているところ。

ただしC 3は白ですが、範囲していされています)ところの中で、右クリック。サブメニューから、セルの書式設定を選び、クリック。

③表示形式タブをクリック

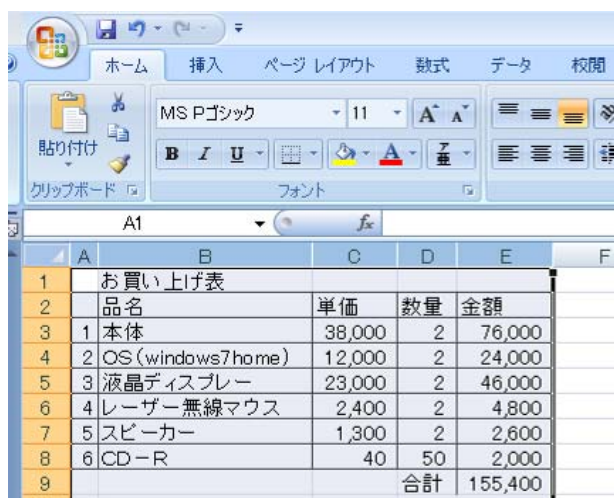
④分類から数値を選択し、クリック。

⑤桁区切りの欄をクリックで、チェックをつけ、OKをクリック。



## 8. セル幅の調整

①列番号の A の上でクリックし、そのまま E までドラッグし、A と B の間にマウスポインタをあわせ、ダブルクリック。最適幅に自動的に設定される。列を表すアルファベットのところにマウスを当て（エレベータのドアを開くマークみたいのがでます）ドラッグすると任意に列幅が変わる



	A	B	C	D	E	F
1	お買い上げ表					
2		品名	単価	数量	金額	
3	1	本体	38,000	2	76,000	
4	2	OS (windows7home)	12,000	2	24,000	
5	3	液晶ディスプレイ	23,000	2	46,000	
6	4	レーザー無線マウス	2,400	2	4,800	
7	5	スピーカー	1,300	2	2,600	
8	6	CD-R	40	50	2,000	
9				合計	155,400	

## 9. 合計のところに罫線を引く

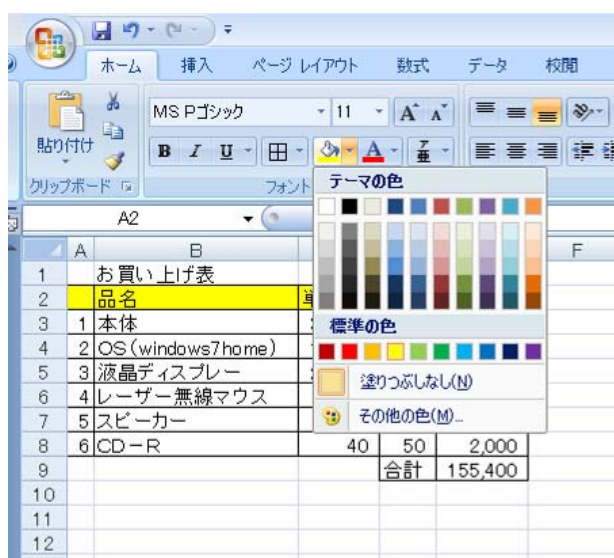
D 9 と E 1 9 をクリックして、選択、罫線（格子）を選択

## 10. タイトル行の色付け

①A 2 から E 2 までをドラッグして選択。

②「塗りつぶしの色」の▼をクリック。

③希望の色をクリック。モノクロで印刷する場合は、薄い色を選択した方がいい。



	A	B	C	D	E	F
1	お買い上げ表					
2		品名				
3	1	本体				
4	2	OS (windows7home)				
5	3	液晶ディスプレイ				
6	4	レーザー無線マウス				
7	5	スピーカー				
8	6	CD-R	40	50	2,000	
9				合計	155,400	
10						
11						
12						

1 1. 完成しましたら、保存。

単価や数量を入れ替えると、金額や合計が、その都度計算されます。

